

令和7年度 石川県小中学校英語教育研究会

石川県小中英研 第2回理事・郡市委員研修会

Zoomにて(オンライン)

令和8年2月12日(木)15:30~

司会:事務局

1. 開会あいさつ (泉 副会長)

2. 報告事項
 - (1)令和7年度事業報告 (木村)

 - (2)令和7年度会計報告 (木村)
※東海北陸大会 決算報告含む

3. 協議事項
 - (1) 会則の改定とそれに伴う研究組織の改編について (木村)

 - (2) 令和8年度以降の事業と研究の進め方について (吉田)

 - (3) 令和8年度事業計画案と予算 (木村)

4. 連絡事項
 - (1) 会誌「いしかわ」について(発行無し) (福田)

 - (2) 令和8年度理事及び郡市委員への連絡事項 (木村)

5. 閉会あいさつ (西野 副会長)

令和7年度事業報告

令和7年6月3日（火）第1回理事・郡市委員研修会 15:30～ Zoomにて

参加者：理事（各郡市研究会英語部長）及び郡市委員

1. 令和7年度役員選出
2. 令和7年度組織・事業・予算案 協議
3. 令和7年度以降の研究体制について（確認）〔東海北陸石川大会の確認含む〕

令和7年8月7日（木）8日（金） 東海北陸公立学校英語教育研究会（石川大会）

会場：地場産業振興センター

内容： 7日 午後より 基調講演、授業映像による研究協議会、分科会
8日 午前より 分科会

※県内からの参加は原則無料。各郡市での積極的な参加の呼びかけをお願いしたい。

令和7年10月18日（土）15:00～17:00 特別ワークショップ

会場：白山市立光野中学校

内容：テストの作成とAIの活用について

令和7年11月14日（金）・15日（土）全英連 和歌山大会

会場：1日目 和歌山県民市民文化会館

2日目 調整中

令和8年2月12日（木）第2回理事・郡市委員研修会 15:30～ Zoomにて

参加者：各郡市研究会英語部長及び郡市委員

1. 令和7年度事業、決算報告
2. 令和8年度組織、研究体制等についての協議
3. 令和8年度事業計画、年度当初報告書類の連絡
4. 各専門部からの連絡

令和8年2月 会誌「いしかわ」発行

令和7年度 石川県小中学校英語教育研究会決算

2025/12/29

1. 収入の部

(単位：円)

項目	令和7年度予算	令和7年度決算	増減(決算-予算)	摘要
会費	300,000	301,260	1,260	今年度能登地区除く
雑収入	0	217	217	利息
予備費	101,476	101,476	0	繰越金
合計	401,476	402,953	1,477	

2. 支出の部

(単位：円)

項目		令和7年度予算	令和7年度決算	増減(△)	摘要	
運営費	事務費	20,000	21,320	1,320	用紙、文具など	
	会議費	32,000	29,808	△ 2,192	zoom契約代	
	運営費計	52,000	51,128	△ 872		
活動費	分担金	10,000	10,000	0	全英連の分担金	
	研究助成費	60,000	63,960	3,960	東海北陸発表者6名+振込手数料	
	派遣費	東海北陸大会	0	0	0	
		全英連	40,000	40,000	0	派遣費
	事業費	夏季研修会	0	0	0	今年度実施なし
		会報いしかわ	0	0	0	pdfオンライン配布
		事業費計	0	0	0	
活動費計	110,000	113,960	3,960			
東海北陸用積立金		150,000	150,000	0		
支出計		312,000	315,088	3,088		
予備費		89,476	0			
次年度繰越金			87,865	87,865		
合計		401,476	402,953	1,477		

※次年度繰越金：収入(40,2953円) - 支出(315,088円) = 差し引き (87,865円)

令和7年度第49回東海北陸公立学校英語教育研究 石川大会 決算書

1. 収入の部

(単位：円)

項目	予算	決算	増減(△)	摘要
予算より	830,000	750,000	△ 80,000	積立金
教育弘済会	100,000	80,000	△ 20,000	補助金
他県より分担金	40,000	40,000	0	5000円×8
県外出席者参加費	250,000	168,000		2000円×84名
展示業者協賛金	20,000	20,000		5000円×4社 東京書籍、三省堂、光村図書、 開隆堂
合計	1,240,000	1,058,000	△ 100,000	

2. 支出の部

(単位：円)

項目	予算	決算	増減(△)	摘要	
運営費	事務費	300,000	281732	18,268	運営資料、消耗品
	会議費	50,000	36273	13,727	会議費、茶菓子代
	出張費	50,000	48608	1,392	運営委員出張費
	小計	400,000	366,613	33,387	
活動費	会場費	640,000	618,840	21,160	地場産業振興センター 使用料
	研究費	200,000	185,751	14,249	授業映像カメラ、文 献・教材購入費など
	その他	0	0	0	
	活動費計	840,000	804,591	35,409	
合計	1,240,000	1,171,204	△ 68,796		

繰越金

113,204

石川県小中学校英語教育研究会会則

(名称)

第1条 本会は、石川県小中学校英語教育研究会と称する。

(目的)

第2条 本会は、石川県の英語教育の振興をはかるための事業及び研究交流を行うことを目的とする。

(会員)

第3条 本会の会員は、石川県内の小中学校、或いは他の教育機関に勤務し、英語教育に携わっている者、並びにこの会の目的に賛同して入会を希望する者とする。

(事業)

第4条 本会は、第2条の目的を達成するために次の事業を行う。

1. 英語教育に関する研究会
2. 研修会・講演会等の開催
3. 研究機関誌『会誌いしかわ』の発行
4. 研究物・機関誌・研究情報等の交換
5. 他の研究団体との連絡並びに提携
6. その他、目的達成のための必要な事業

(役員)

第5条 本会には、次の役員を置く。
会長、副会長、幹事長、副幹事長、会計、会計監査、顧問

(役員の仕事)

第6条 役員の仕事は、次のとおりとする。

- ・会長は、本会を代表し、会務を総理する。
- ・副会長は会長を補佐し、会長に事故ある時は、その職務を代行する。
- ・幹事長は、会長、副会長を補佐し、本会の会務を処理する。
- ・副幹事長は、本会の会務を処理し、うち1名は『会誌いしかわ』を編集する。
- ・会計は、会計事務を司る。
- ・会計監査は、会計を監査する。
- ・顧問は、本会が円滑に運営されるよう助言をする。

(役員を選出及び任期)

第7条 役員を選出は次のとおりとし、任期は1年とする。ただし、再任は妨げない。

1. 会長、副会長、会計監査及び顧問は、理事会で選出する。
2. 会長には、小中学校長をもって充てる。
3. 副会長には、小学校長1名、及び能登・金沢・小松の3ブロックの中学校長または教頭を充てる。
4. 幹事長、副幹事長及び会計は会長が委嘱する。

(機関)

- 第8条 本会には、次の機関を置く。
- ・理事会
 - ・運営委員会
 - ・郡市委員会
 - ・東陸準備室

(理事会)

- 第9条1 理事会は本会の議決機関であり、各郡市より選出された理事と役員で構成し、年2回会長が招集するほか、必要のある時には臨時に開くことができる。
- 2 理事会では、次の事項を審議決定する。
1. 会則等の改正に関する事
 2. 役員等の承認に関する事
 3. 事業や研究の大綱に関する事
 4. 予算に関する事
 5. その他本会の運営に関する事

(運営委員会)

- 第10条 運営委員会は、会長、副会長、幹事長、副幹事長、会計で構成し、本会の執行機関としてその目的を遂行するための会務を行う。

(郡市委員会)

- 第11条 郡市委員会は、各郡市より選出された郡市委員で構成し、本会の事業の充実や会務の円滑な実施に向けて、各郡市及び域内の学校との連絡・調整を行う。

(経理)

- 第12条1 本会の経費は、会費・補助金・その他の収入をもって充てる。
- 2 会計年度は、毎年4月1日に始まり、翌年3月31日に終わる。

(事務局)

- 第13条 本会の事務局は、会長が委嘱する学校に置くことを原則とする。

(規定)

- 第14条 本会の運営に必要な規定は、別にこれを定めることができる。

- 付 則 1. 本会則は令和8年4月1日より施行する。

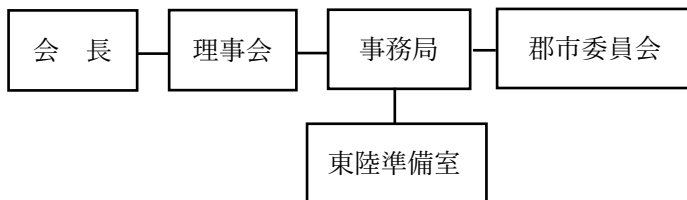
石川県小中学校英語教育研究会 組織

会 長	1名	(原則中学校長より選出)
副会長	4名	理事より選出 小学校部会 1名 中学校部会 3名 (原則) 〔小松ブロック1名、金沢ブロック1名、能登ブロック1名〕
理 事	14名	(原則管理職) 小松ブロック：加賀、小松、能美郡市 金沢ブロック：白山、野々市、金沢、河北郡市 能登ブロック：羽咋市、羽咋郡、七尾、鹿島、輪島、鳳珠、珠洲
幹事長	1名	金沢ブロック (中学校部会) より選出。運営委員長を兼ねる
副幹事長	3名	金沢ブロックより選出 ・小学校部会 1名 (連絡・調整等のみ担う) ・中学校部会 2名 追加→2～3名
会 計	2～3名	金沢ブロックより選出 (小学校部会1名を含む)
郡市委員	14名	各郡市より選出
会計監査	2名	金沢ブロックより選出 ・小学校部会 1名 ・中学校部会 1名
東陸準備室		: 県小中英研 事務局より構成

事務局

幹事長、副幹事長、会計等で構成する。

〔組織図〕



令和8年度事業計画

令和8年5月28日(木) 第1回理事・郡市委員研修会 15:30～ Zoomにて

参加者：理事（各郡市研究会英語部長）及び郡市委員

1. 令和8年度役員選出
2. 令和8年度組織・事業・予算案 協議
3. 令和8年度以降の研究体制について(確認)

令和8年7月30日(木) 夏季研修会

会場 石川県地場産業振興センター 本館第5研修室

午前の部 10:00～12:00

講師 宮崎 太樹 氏 (高千穂大学 商学部 助教)

演題 「スピーキングについて(仮)」

午後の部 13:00～ 15:00

講師 高杉 達也 氏 (筑波大学附属中学 教諭)

演題 「タスクについて(仮)」

令和8年8月6日(木) 7日(金) 東海北陸公立学校英語教育研究会(愛知・名古屋大会)

会場：愛知県産業労働センター ウィンクあいち

名古屋市中村区名駅4丁目4-38

記念講演講師 山田 誠志 先生(至学館大学教授)

分科会 テーマ未定 会場の関係で初日の記念講演の後に4分科会を開催予定

令和8年10月17日(土) 15:00～17:00 特別ワークショップ

会場：未定

内容：未定

令和8年11月20日(金)・21日(土) 全英連 静岡大会

会場：両日ともに 静岡コンベンションアーツセンター グランシップ

令和8年11月22日(金) 県小中英研 秋の研究大会(中学校) (能登地区 代替)

会場：金沢市立西南部中学校

研究授業および整理会：

- ① 木村 祐太 教諭

令和9年2月12日(金) 第2回理事・郡市委員研修会 15:30～ Zoomにて

参加者：各郡市研究会英語部長及び郡市委員

1. 令和7年度事業、決算報告
2. 令和8年度組織、研究体制等についての協議
3. 令和8年度事業計画、年度当初報告書類の連絡
4. 各専門部からの連絡

令和8年2月 会誌「いしかわ」発行

令和8年度 研究関係進め方

1 小中英研共通研究テーマ

「社会とつながる英語～探究を通して考え、伝える力を育てる授業」

AIの発展が加速する、英語を学習するための道具や方法があふれる現代社会において、実社会と連携した授業をどのように展開していくかが、学生が英語を活用しながら生きていく力を育む上で重要です。ICTなどの活用方法にとらわれず、子どもたちが実際に生きていく社会と英語の授業とをつなげる工夫を模索していきます。

2 事業

	研修会内容	秋季大会開催地（研究授業(小中)担当地区)			東陸
令和元年度	講演会（久保野りえ氏）	公開授業	B	白山・野々市	愛知
令和2年度	中止	中止	/		岐阜
令和3年度	講演会（直山視学官）	公開授業	C	七尾・鹿島・羽咋郡市	福井
令和4年度	8地区研究発表会	公開授業	B	河北郡市	静岡
令和5年度	夏季研修会 （伊藤雄二氏、酒井英樹氏）	公開授業	A	小松市	富山
令和6年度	夏季研修会 等 （大脇裕也氏、山崎寛己氏）	公開授業	B	金沢市	三重
令和7年度	東陸石川大会	なし	/		石川
令和8年度	夏季研修会 等	公開授業	C	鳳珠・輪島・珠洲 ⇒代理：金沢	愛知
令和9年度	夏季研修会 等	公開授業	B	白山・野々市	岐阜
令和10年度	夏季研修会 等	公開授業	A	加賀市	福井
令和11年度	夏季研修会 等	公開授業	B	河北郡市	静岡
令和12年度	夏季研修会 等	公開授業	C	七尾・鹿島・羽咋郡市	富山

※秋季大会での研究授業については、各地区の研究会の事情に応じて、小学校、中学校のどちらで行ってもよい。

3 FTI 事業について

次ページ参照

Flowstone Teacher Initiative（フロウストーン教師構想）
— 英語教育に携わる教師の長期的育成と発信を支援するための構想 —

Flowstone Teacher Initiative（以下、FTI）は、本研究会が推進する英語教育に携わる教師の持続的な成長・探究・発信力の育成を目的とした長期的育成プロジェクトである。“Flowstone”は、水滴が長い年月をかけて石の形をつくる鍾乳石を指し、その比喻のもとに、教師が日々の経験を積み重ねながら磨かれ、地域の教育を支える知の層を形成していく姿を象徴している。

FTIは、7年間の成長サイクルを軸に据え、令和14年度（2032年度）に開催される東海北陸英語教育学会・石川県大会での成果発表を最終目標とする。その過程で得られた知見・実践・研究成果を、地域の研修・ワークショップ・会誌等を通じて循環的に還元し、英語教育の持続的発展に寄与することを目指す。

1. 公募対象

- 原則として40歳未満の英語教育に携わる教員を対象とする。
- 令和14年度の東海北陸大会（石川県）を見据え、7～8名程度を県内から公募する。
- 自薦に加え、地区研究会等からの推薦枠を認める。

2. 研究に向けた具体的な内容

(1) 研究費の助成

毎年度、1万円の研究助成を行い、図書購入、教材開発、調査活動等の実践研究を支援する。

(2) 研究テーマの柔軟性

- 研究テーマは毎年変更してよい。
- 参加者のキャリア段階や校務環境に合わせ、無理のない探究を重視する。

(3) 年度末報告（会誌「いしかわ」）

各年度末に、A4用紙1枚程度で、その年の研究内容・学び・成果を会誌「いしかわ」へ寄稿する。

(4) メンバー間の交流

定期または不定期で、研究交流会・実践共有会・読書会など、少人数型のコミュニティ・ミーティングを実施する。

(5) ワークショップの担当（令和9年度以降）

研究会が主催する各種研修において、メンバーがワークショップや実践共有の登壇を担うことで、地域への還元を図る。

(6) 東海北陸大会での発表（最終目標）

令和14年度の東海北陸公立学校英語教育研究会 石川大会における研究発表または授業映像の公開を最終的な目標とする。7年間の探究の蓄積を発信することで、県内の英語教育の質的向上に寄与する。



FLOWSTONE TEACHER INITIATIVE

メンバー募集（自薦）のお知らせ-
英語の授業づくりを、もっと楽しく。

お問い合わせ先

事務局：木村 祐太

（金沢市立西南部中学校）

C4thまたは

silvercord214@gmail.com

募集人数

県内の若手教員から 7～8名程度

（40歳未満を目安とします。自薦・他薦ともに可。）

伴走の場として

Flowstone Teacher Initiative は、“義務”ではなく“伴走”の場です。

忙しい学校現場でも、少しの工夫や実践を共有し合うことで、授業はもっと面白くなります。小さな積み重ねが、やがて大きな学びにつながっていきます。

いっしょに、ゆるやかに、楽しく授業研究を始めてみませんか。

みなさまのご応募をお待ちしています。

石川県小中学校英語教育研究会の新プロジェクト

Flowstone Teacher Initiative は、英語教育に携わる若手教員が、無理なく・自分のペースで・楽しく授業研究を続けていくための、新しいサポートプログラムです。

“Flowstone” は、水滴が少しずつ形をつくる鍾乳石のイメージから名づけられました。一気に成長する必要はありません。日々の実践をゆっくり積み重ねながら、気軽につながり、刺激し合える場をつくることを目指しています。そして、日々の実践を仲間とともにゆるやかに深めてみませんか。

こんな思いをもった人を募集

例えば…

- 他校の先生と授業づくりのアイデアを共有したい
- 日々の実践を少しずつ言語化してみたい
- 英語教育について長く楽しく学び続ける仲間がほしい
- 小さな挑戦を積み重ねながら、授業の幅を広げたい
- 特別な経験や実績は不要です。

活動内容（やさしく・ゆるやかに）

ゆるやかに

- 毎年 1 万円の研究サポート費で、興味あるテーマを自由に探究
- 年度末にA4一枚のミニレポートを作成（研究内容や気づきなど）
- メンバー同士の交流会（読書会・授業アイデア共有会など）
- 研修会・ワークショップでの実践シェアの機会

※活動量は各自のペースで調整できます。年によってテーマを変えても構いません。

令和8年度 石川県小中学校英語教育研究会予算

1. 収入の部

(単位：円)

項目	令和8年度予算	令和7年度予算	前年比増減	摘要
会費	300,000	300,000	0	中学校会員会費(1000円)×280人と小学校団体会費
雑収入	0	0	0	利息
予備費	87,865	101,476	△ 13,611	繰越金
合計	387,865	401,476	-13,611	

2. 支出の部

(単位：円)

項目		令和8年度予算	令和7年度予算	増減(△)	摘要	
運営費	事務費	20,000	20,000	0	郵送代	
	会議費	32,000	32,000	0	zoom契約料、印刷費	
	運営費計	52,000	52,000	0		
活動費	分担金	10,000	10,000	0	全英連分担金	
	研究助成費	80,000	60,000	20,000	研究発表者助成金一人1万円	
	派遣費	東海北陸大会	0	0	0	
		全英連	0	40,000	△ 40,000	
	事業費	夏季研修会	210,000	0	210,000	夏季研修会 県外講師2名 予定
活動費計		300,000	110,000	190,000		
東海北陸用積立金		0	150,000	150,000	今年度については、積立金はなし	
支出合計		352,000	312,000	40,000		
予備費		35,865	89,476	△ 53,611		
合計		387,865	401,476	△ 13,611		

郡市理事および郡市委員への依頼事項

1. 郡市代表としての役割のお願い

理事：

- (1)理事会等での提案や連絡事項を郡市研究会の会員に周知し、郡市としての意見や要望にまとめて理事研修会等の会合に参加願います。
- (2)会員が本研究会の大会等に参加できるよう、関係機関への必要な連絡等をお願いします。研究大会開催郡市においては、郡市校長会や市町教育委員会への事前連絡をお願いします。
- (3)本日決定する予定の「令和8年度以降の研究体制」について、本年度の諸会合で周知していただき継続的な研究体制の確立にご協力ください。

郡市委員：

- (1)郡市委員は専門委員会の運営委員を兼ねます。委員長である小中英研幹事長との密な連絡が必要になります。
- (2)理事会での決定を基に、小中英研事務局との連絡窓口として、連絡調整をお願いします。具体的には、小中英研行事(研修会や大会)を会員に案内してください。
- (3)郡市または地区に、専門委員会の割当があります。割り振り数に従って、事務局への氏名報告をお願いします。専門委員は会への出席が必要なことがありますが、欠席の場合は各郡市または地区で代理者を立てるようお願いします。
- (4)来年度の新しい郡市委員の方に確実に事業計画や会費の納入などについて引継ぎをお願いします。

2. 郡市間の調整のお願い

- (1)他郡市との連絡調整役をお願いします。本研究会は県下16郡市を8つの地区に編成し、その地区で、さらに大きな3つのブロック(能登・金沢・小松)を形成しています。特に8つの地区内での研究交流が促進されるようご配慮願います。

3. 新年度会費徴収のお願い

(1)会費の徴収につきまして、郡市の会員に周知して、回収してください。徴収していただいた会費は、夏休みまでに直接幹事長に手渡しをするか、下記の口座に振り込んでください。なるべく早い段階で（1学期中に）納入お願いいたします。 手数料込みで納入して構いません。

→北國銀行 問屋町支店（117） 普通預金 31696 石川県中英研

（旧の団体名のままです）

(2)会費についても次年度の新しい郡市委員の先生に引継ぎお願いします。令和七年度は、全郡市から徴収させていただいておりますが、能登地区において、難しい状況がある場合は、遠慮なくお知らせください。

① 小学校会費は団体会費

各郡市	会費	各郡市	会費
加賀市	2,000 円	羽咋市	1,000 円
小松市	3,000 円	羽咋郡	1,000 円
能美	2,000 円	七尾市	1,000 円
白山市	3,000 円	鹿島郡	1,000 円
野々市	2,000 円	輪島市	1,000 円
金沢市	10,000 円	鳳珠郡	1,000 円
河北	3,000 円	珠洲市	1,000 円

② 中学校会費

1 人につき 1000 円。

4. 年度当初の報告書類について

令和7年度理事および郡市委員から、令和8年度の新理事および郡市委員への確実な引継ぎ後、報告書類を提出していただくように、必ずお伝えください。

様式を県小中英研のホームページよりダウンロードし、
入力後 ishikawa.jhs.english@gmail.com または silvercord214@gmail.com に送信ください。